



社会福祉法人 岐阜県福祉事業団

岐阜県立

# 飛騨寿楽苑

令和2年6月10日発行 第68号

理念・・・おひとり、お一人の思いを大切に受け止めて



今はマスクで  
見られないけど  
早くこの笑顔が  
見られますように...

日頃から、ご入居者様・ご家族様をはじめ、地域の皆様におかれましては、飛騨寿楽苑の運営に温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。

飛騨古川では、世界ユネスコ無形文化遺産に登録された「古川祭、起こし太鼓」が有名ですが、今年は、未曾有の災禍、「新型コロナウイルス」が世界中に猛威を振るい、緊急事態宣言が発令され、祭りなど催事が中止となりました。

飛騨寿楽苑においても感染拡大防止のため、日常生活の自粛や面会制限で、不安やご迷惑をお掛けしております。みなさんの笑顔や労いの声に支えられながら、職員一致団結し、この難局を乗り越えようと努力しております。今しばらくご協力ください。

今後とも、飛騨寿楽苑に対するご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

苑長 中島 恭久

## INTERVIEW

3月に学校を卒業し、この飛騨寿楽苑で社会人として、そして介護の専門職としてスタートを切った清水さんと川原さんにお話を聞きました。

川原 光さん



清水 ももこさん

### ◆飛騨寿楽苑を選んだきっかけは？

川原さん：実習で飛騨寿楽苑に行った際、雰囲気や声掛け、関わり方がとても良いなと思ったのがきっかけです。  
清水さん：実習先で指導者の方が親身に指導してくれたのがきっかけです。

### ◆実際に仕事をしてみてくださいか？

川原さん：覚えることが多く大変だと感じますが、職員さんが一つ一つ丁寧に優しく教えて下さるのでありがたいです。  
清水さん：なかなか声かけが伝わらず、精神的につらい時もありますが、「ありがとう」「おつかれさま」と入居者の方が言って下さり、やりがいを感じます。

### ◆社会人となって今後楽しみにしていることはありますか？

川原さん：お金を貯めて、色々な所へ旅行や音楽フェスに行きたいです。  
清水さん：自分で働いたお金で欲しい物を買う事を楽しみにしています。

### ◆今後どんなことを頑張っていきたいですか？

川原さん：仕事に慣れ、一つ一つ丁寧な関わりを持ち、入居者の方に寄り添っていきたくです。  
清水さん：今は自分の事で精一杯になってしまうので、仕事内容を覚え周りを見て動けるように頑張りたいです。

## 介護・看護職員募集！

福利厚生  
充実

### ◆介護職員時給

- ・有資格者(介護職員初任者研修など) 970円～
- ・無資格者/未経験者 930円～
- ※夜間勤務ができる方はさらに時給アップ!

### ◆看護師時給

- ・正看護師 1,240円～
- ・准看護師 1,060円～

### ◆諸手当

- ・処遇改善特別手当(職種・経験年数等に応じて年1回支給)
- ・賞与(2回/年)・通勤手当・夜勤手当(5,000円/回)
- ・誕生日休暇・パート退職金制度有・福利厚生事業「ソウェルクラブ」加入
- ※勤務日数、勤務時間、正規職員採用等については相談に応じます。

担当：次長 宮本まで

入居者様の日々の生活の充実にとって、ボランティアさんの存在はとても大きなものであると感じています。現在は新型コロナウイルス感染予防対策の為、来苑を控えていただいている状況ではありますが、終息の後には改めてお力添えいただければと思います。  
担当：企画経営リーダー山本

飛騨寿楽苑のホームページでは、生活の様子や苑での取り組み、求人情報などをアップしています。ぜひ覗いてみてください！

<http://gifu-fukushi.jp/hidajuraku/>



## 介護のご相談は

### 飛騨寿楽苑ケアプランセンター

経験豊かなケアマネジャーが、お一人おひとりの思いを大切に、ご相談をお受け致しております。

介護保険サービスの利用

手続きなどの代行

認知症介護・施設入居の相談



ご要望に応じ、飛騨地域のデイサービス、ヘルパーなど各種サービスをご紹介します。また、医療機関とも連携しております。

お気軽にお電話ください。 ☎74-1002



### 県立飛騨寿楽苑 お問い合わせ

★苑だよりに関するご意見・ご感想もお待ちしております

TEL(0577)73-3804 FAX(0577)73-2246 Mail:hidajuraku@gifu-fukushi.jp

広報担当：田谷・池尾・新家・松原・野村

## 布きれ・古着等をお譲りください

介護現場で重宝する消耗品。それは「布きれ」です。もし、捨ててしまうような布きれ(綿製品)がありましたら、ゴミとして処分する前に当苑にお譲りください。よろしく願います。

満開の芝桜  
業務さんが毎年手入れし  
て下さり、今年もきれいに  
咲きました。





# 感染症予防の取り組み



昨年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、多くの国々に広がり、4月16日には、全国に「緊急事態宣言」が発令されました。当施設においても、県や市の指針に基づき、感染防止体制をチェクしながら、感染症予防に取り組んでいます。職員は手洗い、手指消毒、マスク着用を徹底し、出勤前には検温や体調の確認を行っています。また、苑内の換気、デイサービスやショートステイ利用者や入居者との動線を別にし、職員間でも極力移動範囲を縮小するなど、三密を避けた環境に心がけています。

このような状況により、さまざまな研修は延期していますが、新任転任職員に向けては、感染症の理解と予防策の勉強会を行いました。基本となる手洗い、手袋や防護エプロンの装着の仕方について、実際の処置の場面を想定して演習を行いました。「感染しない。持ち込まない」を合言葉に一人一人の職員が正しい知識と技術を身につけ、施設や地域を守る意識を高める研修になりました。



感染予防対策のひとつ



## 飛驒寿楽苑内の様子

面会・イベント自粛等様々な制限がありますが私たちは楽しんでます！

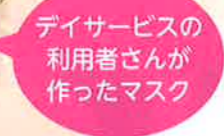
**得意なことを**

マスクが足りないから私たちが作ってます！

リース作り。手芸をしながらお家時間を楽しんでいます。

デイサービスの利用者さんが作ったマスク

楽しく体を動かしています。



面会制限の中、ご家族様にはご心配やご迷惑をおかけしております。そのため施設では、ユニットごとに通信や写真レターを送らせて頂いています。またガラス越しの面会も始めました。

## 花を見ながら苑内の散歩



グループホーム輪は、入居者9名が食事の支度や掃除、洗濯などの日常生活を、それぞれが自分のできることを行い、できないことは支え合いながら暮らしています。その方の歩んできた大切な歴史。人生の記録を「自分史」という形で一冊の本にしてまとめています。



## 『大正・昭和・平成・令和という四つの時代を生きてきた私の物語』

私のふるさと保。今はもう、保に行くことはできません。ダムの底に沈んでしまったからです。でも、私は保のことを今でもよく覚えていてます。子供時代、保には百軒くらいの家があり、河合の中では角川の次に賑やかでした。学校やお店、診療所もありました。角川までは三里半ほどです。角川に鉄道が通ったとき、新しい駅まで行ってお祝いをしました。保地区は昭和47年、下小島ダムの完成とともにその歴史を終えました。



高等科に一年通った後、私は飛驒を離れることになりました。その日は、お父さんと一緒に朝早く家を出て、角川駅まで歩きました。駅には同級生が集まり、工場の募集の人が旗を持って迎えに来ていました。私たちは蒸気機関車で岐阜に行きました。かぞえて十五歳になる年のことでした。



令和元年十月四日。私は久しぶりに角川の駅にやってきました。河合村はすっかり変わってしまいましたが、この線路は昔のままです。過去から未来へ向かう私の人生のように、どこまでもまっすぐつながっていました。

糸を巻き取る音が一日中「しゃー」となっています。十時と三時に音楽がかかりました。軍歌が多かったのですが、たまには流行歌がかかります。私が歌を唄ったり聞いたりすることが好きなのは、この時からです。



施設に入居しても地域や家族との繋がりが切れてしまうわけではありません。思い出の場所、会いたい人……私の生きてきた証がそこにはあります。



我が家に帰り、墓参りをして来ました。

「あれ～ちっとも変わらん～」なじみの人と再会を喜び、毎日行っていた「ゆわ～くはうす」のお風呂に入ってきました。

認知症の本人にとっての最大の苦しみは、自分らしさを保っていくことが難しくなり、自分でさえ自分がわからなくなっていくことだと言われています。薄れゆく記憶が、ふとした会話やその場所を訪れることで、いきいきと蘇る瞬間が誰しもあります。自分にとっての意味ある過去が「その人らしさ」を保ち続け、自信や喜び、安心となり、それが今を生きる糧となって未来へとつながっていくのだと思います。「忘れてもいい。自分一人で思い出せなくても、側にいる私たちが大事な過去を知っているから。」と、職員は自分史をつくりながらその方の思い出に寄り添い、それを日常の暮らしに活かしています。今日もグループホーム輪からは懐かしい歌声と楽しそうな笑い声が聞こえてきます。



久しぶりに作る南蛮煮も手が憶えています「昔はよ～みんなに配ったな～」と慣れた手つきです。